

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

# ガバナー月信 8

(2001.1.1発行)

## 2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清成  
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)  
TEL. 0587-52-5200 FAX. 0587-52-5252  
E-mail governor00-01@rotary2760.org

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

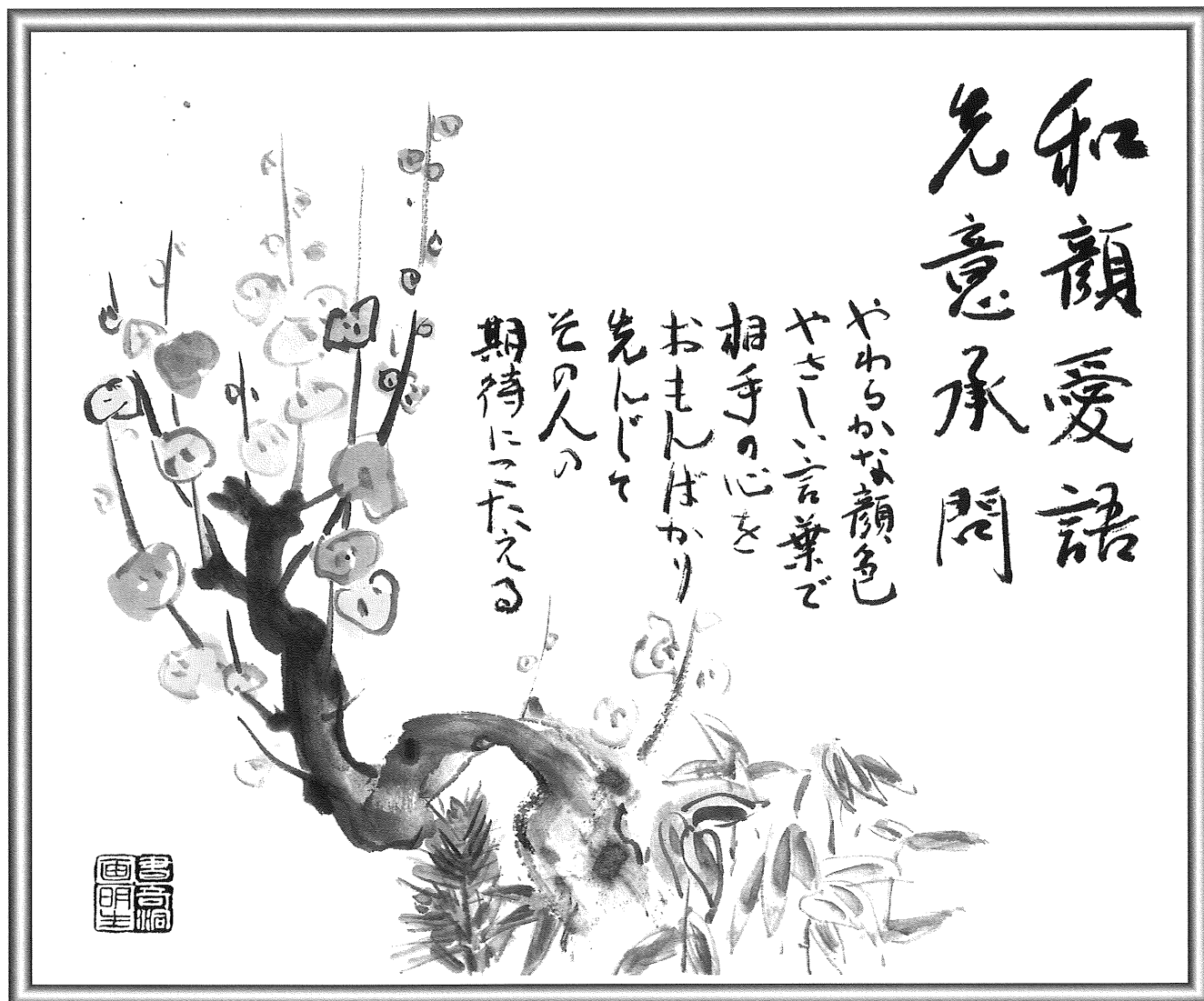
## 謹賀新年

### 世界理解月間

|                      |   |
|----------------------|---|
| クラブ会長・幹事の皆さんへ.....   | 1 |
| ガバナー補佐訪問を終えて.....    | 3 |
| I.M. 報告(東名古屋分区)..... | 7 |
| 21世紀の扉を拓く.....       | 8 |

#### 目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 新入会員報告.....              | 13 |
| 新ポールハリスフェロー・ロータリー文庫..... | 13 |
| 特別寄付報告.....              | 14 |
| 出席報告(11月分).....          | 15 |



# 21世紀は輝かしいか

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

### 明けておめでとうございませう。

21世紀へ第一歩を踏み出したという特別の感慨を覚えます。フランク J・デブリン会長は「25年後のロータリアンがこの大きな節目の2000・2001年度、私達がとった行動をどう見るだろうか」と問いかけました。100年後を考えるのも面白いですが、現実味のある20年先位の望ましい社会の姿を意識して行動指針をたてるのが良いのではないのでしょうか。

### 今、50歳台の終りが ロータリアンの平均像

であります。すさまじい世界大戦の後の20世紀後半を生きてきた人達ともいえます。この間、日本はアメリカの豊かさにあこがれて国民全体が実によく働き、目覚ましい経済発展を遂げました。バブルに入る1987年には、とうとう一人当たりGDPではアメリカを追い抜いたのであります。

1970年代に入る頃迄は2ケタ成長が当然とされ、人口が7000万人から1億

2000万人へと増加し、旺盛な需要に供給が追いつける状態で高度成長が続き、好況期を何度も迎え、貿易収支の赤字がその制約条件となり、金融引締め、不況期、というパターンを繰り返しました。そして不況脱出にはケインズ理論による乗数効果に期待する財政出動に頼るものでした。しかし、ローマクラブが資源制約による「成長の限界」を

訴えるのに呼応するように1973年からオイルショックに見舞われます。そして身を削りその対応に必死になることが、アメリカへの輸出超過を招き、逆にアメリカが輸入超過に陥り、円の切上げを強く求めてきました。そして大方の企業は販売価格引下げの圧力に苦しむことになり、その上旧共産国・発展途上国の自由圏市場への参入が始まったことでその傾向は一段と強くなっています。



さらにこの頃から、国内の生産力は国内需要を上回り、もうこれ以上買うものがないとみられるようになり、いわゆる低成長時代に突入しますが、アメリカから日本の内需を高めよと押され、極端な金融緩和を実行し、土地・株式を中心とした大バブルを引き起こし、同時に国内消費の先食いをして一時的にデフレ傾向を忘れ、87年から90年にかけて砂上の楼閣ともいえるべき平成バブル景気に酔いしれました。バブルがはじけ元のデフレ状態に戻ったその後の失われた10年は記憶に新しいところです。オイルショックの時に、財

政赤字に頼って立ち直ろうと均衡健全財政をあきらめ、同じ考えがこの10年間不況脱出のためと一層大掛かりに行われ、国・地方自治体の借金は驚くほど大きく積み重なり、先の目鼻さえも未だ何らつけられておりません。

**皮肉なことにこの10年間** アメリカは

冷戦に決着をつけ、自由経済世界に参入してきた低賃金国の生産力を利用し、マネー戦争も仕掛け、それによって驚くほど長い間好況を続けて参りました。あの沈んだ80年代は何であったかとさえ思われます。但し、国際収支だけは膨大な赤字を発生させ続けていますが。そしてその好況は極度の自由市場経済の賜物であるからと世界中にそれをもっと徹底しようとしています。人間を大切にする日本型経営こそあるべき姿と信じていた筈なのに、日本も今はただただ殆ど自由にすればよくなるとする市場主義礼賛の真っ只中にあります。

結果平等を目指す社会主義、努力したものが報われるとする資本主義、どちらも福祉社会の実現が目的であったが、やってもやらなくても同じならということで社会全体の効率を落として前者は落ち目となりました。しかし資本主義も大きな問題に突き当たっています。

## 一つは、成果主義中心とはいふもの

社会全体の福祉も重視する、そのために大きなコストがかかっているのにその負担は嫌い、誰もが目をつぶってしわ寄せは巨額な財政赤字に押し付け将来への不安を増大させていることです。

次に、市場における自由をつきつめてゆくと、一人勝ちを生みやすく、大半の人々はやりきれない状態に追い込まれる。それは幸せな世の中とはいえないのではないのでしょうか。

更に利益第一主義、お金至上主義となり、いろいろな価値観はその中に飲み込まれ、とくに資源問題を含めての環境問題が人類の生存にさえ影響し始めているのに、それは二の次にされてしまっています。

## きわめて単純化して問題点を述べ

ましたが、よい社会・よい世界を望むロータリーはまず現状についてはっきり意識せねばなりません。良い面は残すだけでなく更に伸ばし、問題となる点には解決策を練り行動する。新しい価値観を構築し、それに向かって行動する。問題を正視することによって、おおよその答が得られるとよく言われますが、先に触れた諸問題に想いをめぐらせているとごく自然にロータリーの理想が浮かび上がって参ります。

超我の奉仕、自分を軽く他人のために心をかける精神、何事をなすにも相手の気持ちをまず考える奉仕の理想の概念、これらを多くの人々が基本に置くようにすれば全て氷解し素晴らしい時代が訪れると思います。勿論、具体的に

幾多のアイディア、努力、献身、辛抱の積み重ねを要しますが、必ず開けていきます。コミットメントー使命感ーとシンパシー共感ーを持ったロータリアンと理解者が一人でも多くなるよう念ずるものであります。

国際金融スペシャリスト増田俊男さんに教えていただい

たのですが、大正11年11月16日から40日間滞日した時の講演の中でアインシュタインが言われた言葉は不思議ですが、ほのぼのとした気持ちにしてくれます。

「世界は進むだけ進んでその間、幾度も闘争が繰り返され、最後に疲れるときが来るだろう。そのとき、世界の人類は必ず真の平和を求めて、世界の盟主をあげねばならぬ時が来るに違いない。その世界の盟主は武力や金力でなく、あらゆる国の歴史を超越した最も古く、且つ、尊い家柄でなければならぬ。世界の文化はアジアに始まってアジアに帰り、それはアジアの高峰、日本に立ち戻らねばならぬ。我等は神に感謝する、天が我等人類に日本という国を造っておいでくれたことを」

これから始まる21世紀に思いを馳せ、改めて意識を喚起し進んで行動をしようではありませんか。



## “各クラブ特色が”

南尾張分区  
石川 治 郎(半田南RC)

本年度は、次の日程にてガバナー補佐訪問を行ないました。

2000年8月3日(木) 半田RC  
2000年8月8日(火) 半田南RC  
2000年8月21日(月) 知多RC  
2000年8月25日(金) 常滑RC  
2000年9月30日(土) 東知多RC  
2000年10月4日(水) 東海RC

半田RCは、吉田会長のもとに、創立50周年事業を中心として活動を展開しています。半田RCは、常滑RC、東知多RC及び半田南RCのスポンサークラブとして歴史と伝統のあるクラブです。本年度は、50周年事業の他に、青少年交換学生の派遣・受入や新世代会議を主な事業として行なっています。

半田南RCは、水野会長のもとに、IMを中心として活動を展開しています。IMの他に、社会奉仕活動としてボランティア・コーディネーター研修会の開催や、職場奉仕として「四つのテスト」の各職場への普及を計っています。

知多RCは、村上会長のもとに、出席向上プログラムの用意や、会員増強を中心として活動を展開しています。又、新世代委員会として知多市ジュニア吹奏楽団に対する支援や、国際奉仕委員会としてWCSの活動を行なっています。大変まとまりの良いクラブです。

常滑RCは、清水会長のもとに、創立35周年事業を中心として活動を展開しています。35周年事業の他にRC C(常滑ハートケアサークルへの継続支援)やWCS(ネパールへの継続支援)を中心として活動を行なっています。又、中部新空港のあるクラブとして将来発展が約束されたクラブでもあります。

東知多RCは、竹田会長のもとに、地区インターアクトクラブ協議会を開催します。その他に、職業奉仕委員会としての優良従業員の表彰や、社会奉仕委員会としての社会福祉団体への寄贈などを行なっています。尚、9月の集中豪雨で、会員65名中30名の方が水害にあわれました。お見舞い申し上げます。

東海RCは、亀井会長のもとに、会員増強を最重点事業として活動を展開しています。他に、職業奉仕委員会の優良従業員の表彰や、環境保全小委員会のゴミ0運動、国際奉仕委員会のWCSへの参加・支援、GSEなど多数の事業を行なっています。尚、南尾張分区として最初の女性会員も誕生致しました。ご活躍を祈ります。



## “横は密接だが 縦が希薄”

西尾張分区  
藤井 忠(西春日井RC)

西尾張分区内におきましては、9月の東海集中豪雨により、多大の被害が生じました所、ロータリアンの皆様方からお見舞いや、義援金をいただき、誠に有難うございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

8月2日尾張中央RCを皮切に、9月22日津島RCまで、9クラブ訪問中、東海豪雨に遭遇するアクシデントがありましたが、無事クラブ訪問を終ることが出来ました。しかし、福田ガバナーの公式訪問日程には変更がございましたことを、ご報告させていただきます。

各クラブの巡訪の節には、会長、幹事様をはじめ会員の皆様方の心温まるお迎を受け、訪問クラブの会員であるかの如き錯覚に陥る。触れ合いの友情を感じ、生涯忘れ得ぬ思い出となりました。

RI会長フランク・J.デブリン氏、福田ガバナーの地区方針である、会員増強、退会防止、経常経費の抑制等、各クラブ共通の問題につきましては、会長のリーダーシップが強くあらわれ、感銘を得ました。

奉仕部門につきましては、クラブの歴史、地域社会の環境により差異があり、クラブの特色と同時に、クラブの自主性が顕著にあらわれておりました。

しかし、クラブ間の連絡は、縦(親クラブ、子クラブ、孫クラブ)は密接であるが、横の関係のクラブについては極めて希薄であると同時に、クラブ内でも、次年度との連絡がスムーズでなく、ただ単に毎年、踏襲している面がみられ、この辺を修正すべき点だと思います。

そこで、ガバナー補佐の役割として、横の関係、及び次年度との連絡を密にすることも、必要ではないかと感じました。

最後に、各クラブのご発展を心より祈念し、訪問のお礼とさせていただきます。





### “奉仕する 楽しさ”で 得た友人

東尾張分区  
坂田 隆(瀬戸北RC)

未だ任期を半分残す時期にこの文を月信に記することに不安がありますが、与えられたガバナー補佐のクラブ訪問もすでに思い出となってしまったくらい月日の流れの速さに自分自身おどろいている今日この頃です。

私の担当する分区10クラブは、それぞれ歴史も創立以来半世紀に迫るクラブもあり、その歴史の重みと現況の活力等いろいろ訪問させて頂いた私自身に一番多く勉強になったと思います。

クラブ訪問の手法その他一切事前  
にトレーニング等を受けていない、  
地区にはそう言うプログラムは全くないまま訪問に突入しました。

ただ私は、訪問する前に各クラブの会長幹事さんに多少の事前情報を頂き、その前日は訪問先のクラブ計画書とロータリー手続要覧を夜遅く迄勉強して参りましたが充分意を盡すことが出来たか今でも不安な気がします。

ただ、それぞれの訪問先で本当にどのクラブも真面目に大歓迎を頂き、私のRCライフには忘れることが出来ない大変素晴らしい思い出となっています。

私の各クラブをお願いした手順は、先ず会長幹事さんと1時間余に亘る本音の話し合いに本年度の私達東尾張分区のすべての会長幹事さんが素晴らしい情勢と責任感を以て運営を行って頂いていることを大変うれしく思い、福田ガバナーに所定の方法で伝えて来ました。

ただ各クラブそれぞれの歴史と現在の環境には多少の違いがあり、今後の問題点もそれなりにクラブ協議会で話し合っ

私が今更ながらロータリーに再  
発見したことは、やはり原点に“超我の奉仕”  
の哲学がしっかりしていることです。“奉仕する楽しさ”  
を広く大勢の友を得たことは、本当に幸せであり、ロータリーアンとして今年  
は充実した年であろうと思います。

この幸を手助けしてくれた補佐幹事、副幹事の両名を初め、多くの友人に心より感謝しています。

今後もロータリーの勉強は永遠のものと思っています。

どうか皆さんもロータリーの奉仕の理念のもとに限りなく楽しもうではありませんか。



### “人口問題” ーバランスのとれた環境ー

西名古屋分区  
小坂 忠勝(名古屋栄RC)

ロータリアンの皆様明けましておめでとうございます。

新世紀の二十一世紀を迎え、心新たな希望、そして私達の使命、クラブ、地域社会、広く世界へ「意識を喚起し一進んで行動を」とフランク・J.デブリン会長のメッセージは問題意識を与えた第一歩です。第2760地区福田清成ガバナーは2000～2001年度RIのテーマ、地区方針と目標を定め(1)職業奉仕の理想の強調と会員増強(2)人口問題への関心(3)自然循環による環境保全(4)道徳教育と明るい未来(5)具体的目標の活動を建て、ガバナー補佐として西名古屋分区12クラブを訪問活動しました。暖かい歓迎で緊張もほぐれ、デブリン会長のメッセージ、RI、地区方針と目標の問題解決の活動を一層活発に前進する様にお願いをしました。

私は卓話で「法隆寺の匠の技」と題して話しました。

日本の現在社会、多様化する文化、文明は創造力の弱さから衰退に向かっている。法隆寺がなぜ1300年の永き歴史に耐えたのか。それは無の弾の崇高な哲学、心物一体の生命力の尊厳の象徴で構築された骨子が近代建築の超高層建築、柔構造に継がっている。数千年の歴史、伝統に築かれた理念を忘れずに、新世紀は文化力と科学技術力が包括された調和の時代であろう。

西名古屋分区12クラブの印象は地区方針と目標に向かって意識と行動に満ちあふれ整然とした討議を感じました。種々なる課題に対して委員会は、良く探究されています。特に人口問題で青少年の育成、少子化、高齢化の対策は、深刻で、未来に向かって検討するには西名古屋分区全体で考えて行くべき活動と感じました。中・高・大学生の留学生交換も積極的に展開され、又「蜚」の飼育を小学校7校の生徒と探究して将来は名所にする夢等、ほほえましい努力をされているのには感心しました。中部の元祖名古屋クラブの大世帯は歴史と伝統を感じ、子孫クラブを誕生された功績は多大であります。

名古屋西、南、みなと、東南、中、瑞穂、大須、栄、名駅、名南、西南のクラブは新世代に対応し、それぞれ魅力ある運営を積極的にされていました。時代が大きく変革しつつある今日、男女会員で良きアイデアと、優しく温かく運営されている名南の婦人会員17名のユニークな雰囲気は時代潮流を感じました。良き地域社会を構築する為にバランスのとれた環境は、人口問題に必要な基本理念であると感じました。



## “名古屋和合クラブ 地区大会の熱意に敬服”

東名古屋分区  
星 川 直 志(名古屋名北RC)

ロータリーで25年間お世話になった恩返しのためでガバナー補佐という大役をお引き受けすることに致しました。

私がロータリーの大きな役を引き受ける時は必ず会社が大変な時でございますが、大役を刺激としてすべてに努力し、励まねばなりません。本年1月に行われました第1回ガバナー補佐会議において、当時エレクトであった福田ガバナーより地区の目標・会員の増強・ロータリーの目的など多くをインプットされてのスタートでした。まず最初にガバナー補佐の任務として、手続要覧に従い、7月1日前(5月8日～6月1日)に分区内10クラブにご挨拶を兼ねて事前訪問をし、各クラブの会長・幹事と親しく協議し、下準備を致しました。

東名古屋分区のガバナー補佐訪問は名古屋和合RC(7月19日)を皮切りに最後名古屋北RC(9月29日)まで10クラブをつつがなく訪問させていただきました。どのクラブにも大変歓迎され、また大変協力を頂いたこと、そして各クラブの皆様へロータリーについて多くを学ばせていただいたことをこの紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。

フランク・J.デブリン会長の「意識を喚起し一進んで行動を」、福田清成ガバナーの地区目標が各クラブ良く理解され、それぞれ活発なロータリー活動を計画されていました。ロータリーに歴史と伝統があるように各々のクラブにも古い・新しいは別として歴史と伝統を個性として感ずることが出来ました。そして、共通の悩みとして会員増強とホームクラブへの出席率を高めようと知恵を絞っておられることにも敬服いたしました。クラブアッセンブリーでは長時間のコメントを差し上げましたが、これは各クラブの熱意に対してのお答えです。長時間のお付き合いに感謝申し上げます。

特に印象に残ったのは、名古屋和合RCの地区大会に対する熱意です。大会のコンセプト・企画・計画等クラブ全員家族まで引き込んだその実行力は開催前に既に大成功を確信いたしました。

この報告書を提出するまでに、既に本年度の東名古屋分区I.M.テーマ「21世紀・日本のエネルギー」を中部電力(株)取締役社長太田宏次様を講師に迎え、633名の出席者を得て無事に開催することが出来ました。各関係の皆様のお陰と感謝申し上げます。



## “難問を抱え 各クラブ健闘”

東三河分区  
林 成 樹(田原RC)

クラブ訪問の約1ヶ月前、あるクラブ会員より例会の出席に関する質問のお手紙をいただきました。その要点は(1)他のクラブの例会に出席の目的をもたずに、サインメイクアップのみで、出席とみなしていることについて、(2)連続4回例会を欠席した場合は自動的に身分が終結する一の規則の適用について、又その際の「正当且充分な理由(good and sufficient reason)の解釈について」でありました。

クラブ訪問の際どんな質問が出るかわからない、そんな思いで改めて手続要覧、manual of procedure、ロータリアン必携、ロータリーの友、ガバナー月信等を読み返しました。

8月7日奥三河に始まり、9月28日豊橋クラブに終る13クラブの訪問は、会長幹事様をはじめ会員皆様の暖かいおもてなし、なごやかな然も真剣な雰囲気の中で無事に終えることができ、改めて心から感謝とお礼を申し上げます。

それぞれのクラブは、それぞれの個性をもち、立派に運営されている、クラブに甲乙はつけ難い、これが率直な私の感想であります。

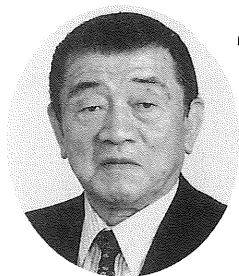
訪問時に色々の問題や意見が出ましたが、その主なものを記させていただきます。

「ロータリーの綱領」の記載の仕方

- ・クラブの行事予定の7月に「識字率向上月間」の記載もれ
- ・ロータリアンの5つの義務
- ・情報集会(informed group meeting)
- ・60パーセントの出席規定、職業分類の拡大解釈
- ・クラブ定款第7条及び第10条
- ・単年度の奉仕活動、汗を流す社会奉仕活動
- ・規則第10条 クラブの会計監査
- ・ロータリーの原点及び基本精神
- ・若年層と女性の会員増

—等々でありました。





### “増強より 退会者を少なく”

西三河中分区  
花 沢 勇(豊田三好RC)

先ず私のアシスタントガバナーとしての生い立ちを簡単に述べさせていただきますと、クラブに適任者がいなく止むを得ずして、私に白羽の矢が廻ってまいりました。そこでお引受けしてやるからには皆様の御援助を頂きつつこの役職を全うする所存であります。私はもう一つ、愛知県産婦人科医会の副会長と云う役職も重なり大変だと覚悟して居りますがどうか半年過ぎましたので後半健康に気を付けて頑張りたいと思います。ガバナー始め他のアシスタントガバナーの皆様よろしく御援助の程お願い致します。かくしてアシスタントガバナーとして岡崎4クラブ、豊田5クラブ(三好も含めて)訪問させて頂きました。共通して申し上げることは皆様良くお考えになり目的を示され関心致しております。私が思ったことは沢山の目的をお立てになっているセクションもありましたが目標は少なくともそれぞれを十分に消化して完結頂ければ結構だと思います。そしてどこでも取り上げられます増強のことですが、増強よりいかに退会者を少なくするにはどの様にしたらよいかと云うことで浮かび上がりましたがメンバーの中には善人も居れば悪人もいますのでその悪人のためにメンバーが減る様でしたら悪人を追い出すより仕方がないと云う結論に達しました。ではどの様にすべきか具体的には良く情報をキャッチして、会長幹事が善処すべきである云う結論に達しました。それと私は会員増強はその土地の事業主を対象とされた方が定年制がないから移動が少ないでしょうと申し上げました。

最後に一般社会の人々がロータリーをどの様な考えで観察されてみえるのか私の感じた意見を申し上げますと、ロータリーはハイソサエティの人々の集団で一般のかたがたが付き合にくい集団だと思ってみえる方が大多数を占め、我々思っている以上に付き合にくい集団だと思われるのが次第に判ってまいりました。ではどの様にするか私見ですが例えばその一例として殆んどクラブ例会をホテル(中には一流ホテル)でおやりになっているクラブが多く、この様な点から改革して会場は質素な行政の会場を使用することが望ましいと存じます。又ロータリーバッチを日常的につける様に強制されておりますが、これも必要な時だけ胸につけ、他の時は取りはずす方が一般の方から親しまれる社会人となり得ることでしょう。最後にロータリーを知ってみえる方は相当おみえになっておりますのでロータリーアンとしてプライドは必要ですが過剰にならない様、指導することが改めて必要かと思ひます。



### 真剣な取り組み ー増強と退会防止ー

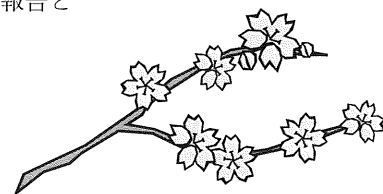
西三河分区  
加 納 隆(西尾KIRARA RC)

ガバナー補佐訪問に際しましては、西三河分区、9クラブの会長、幹事様をはじめ全ロータリアンの皆様に大変暖かく迎えて頂き感激を致しました。そして皆様のお陰で補佐訪問も無事終える事が出来たことを、心より厚くお礼申し上げます。

7月14日我が西尾KIRARAロータリークラブを皮切りに、9月26日の高浜ロータリークラブの訪問まで2ヶ月半の道のりは、私にとって非常に長く感じた期間でした。しかし、今回の訪問で、各クラブさんが取り組んで見えるクラブ奉仕、職業奉仕、国際奉仕、社会奉仕、環境問題、さらに新世代に対しての夫々の奉仕活動や、伝統あるクラブの運営についての意見交換の中で、一番勉強させて頂いたのは私自身でありました。この貴重な体験を今後のロータリーライフに、活かして行かなければならないと強く感じました。

各クラブさんでの例会卓話の内容は、フランクJ・デブリンRI会長のメッセージの伝達と、第2760地区福田ガバナーの4つの方針と5つの具体的目標の説明をさせて頂きました。例会後のクラブ協議会では、各委員長さん方から、今年度の事業活動の詳細な説明を受け、その意見交換を行う事が出来、有意義な時間であったと思っています。その中でも、会員増強問題で、現在の厳しい経済状況の影響もあると思いますが、夫々のロータリークラブにおいて、会員の減少傾向に歯止めが掛からず、問題解決の意見交換に時間を割きました。意見としては、女性会員の積極的な勧誘、親子会員のお願い、青年会議所卒業者等の若い会員の確保、そして、退会防止のための諸施策など、各クラブさんが、苦心して会員増強、退会防止に、真剣な取り組みを頂いていることに対し改めて敬意を表す次第であります。

21世紀を迎え、新世紀のロータリークラブのあり方を模索すると同時に、分区内各クラブさんの益々のご活躍を心から御祈念申し上げ報告と致します。





## 東名古屋分区

# 「21世紀・日本のエネルギー」をテーマに

東名古屋分区ガバナー補佐 星 川 直 志

### <概要>

テーマ 「21世紀・日本のエネルギー」

開催日 2000年11月30日(木) 16:00~19:45

場 所 ウエスティン ナゴヤ キャッスル(2F天守の間)

参加者 特別出席者19名 一般参加者614名 合計633名

内 容 講 演 「21世紀・日本のエネルギー」

中部電力株式会社取締役社長 工学博士 太田 宏 次 氏

懇親会 演奏 ターフェルムジークアンサンブル

ホスト 名古屋名北ロータリークラブ



▲福田ガバナー挨拶

し、決めたら賛同して下さる人々と共にロータリーは行動を起こさなければいけない。今回のI.M.が21世紀日本のエネルギーについて多くの角度から考察され、真に明るい未来への選択のよすがとなることを期待します」と挨拶された。



## 21世紀・日本のエ



▲星川G補佐

今年度地区最初で、20世紀最後のI.M.が「21世紀・日本のエネルギー」と題し、盛大に開催された。第1部式典が「福田ガバナーの地区の方針に沿って行動を起こしているが、今回私たちは環境保全と密接な関係にあるエネルギー問題に触れ、21世紀のエネルギーについてロータリアンのみならず全世界の人たちと共有する問題に取り組む必要がある」との東名古屋分区星川直志ガバナー補佐の挨拶、ホストクラブ名古屋名北ロータリークラブ阿部美男会長の歓迎の挨拶で始まった。これに対して、福田清成ガバナーは「新しい21世紀を迎えるに当たっては、しっかり問題を認識し、良い解決方法を検討

続いて、講演会に移り、遠藤友彦I.M.実行委員長を座長として「21世紀・日本のエネルギー」と題し、中部電力(株)取締役社長太田宏次氏が、我が国のエネルギー基本政策「エネルギーセキュリティの確保」「環境問題の解決」「経済の持続的成長」の3つの課題を同時に達成していくために、1)世界のエネルギー事情、2)脱石油を目指している日本のエネルギー事情から我が国の電力事情を述べ、3)電気事業の課題と展望として我が国エネルギー政策の基本



▲中電社長 太田宏次氏

ー3つのEーとしてグローバルな課題である環境問題を踏まえ、原子力・新エネルギー開発の現状と課題について、最後に今年3月より実施された「電力部分自由化」の新制度について、海外との比較に言及した質の高い知的な講演を伺うことができた。



▲遠藤友彦 I.M.実行委員長

第2部懇親会は、会場を移し、ターフェルムジークアンサンブルの演奏をバックに杯を上げながら各ロータリーアンとの友情をさらに深めることが出来た。



## 「人が人を呼ぶ」

—「人格奉仕」へ—

鈴木 孝 則

(あまRC)

神戸G年度地区幹事

ロータリーが生まれ、先輩ロータリアンの情熱、ご努力、ご指導により、素晴らしい成長を遂げた20世紀が終わった。そして、更なる発展、充実を期する21世紀の扉が今開かれようとしている。

1905年にロータリーをつくった大先輩達が描かれた理想に対し、現在までの発展過程や現況は果たしてどのように映ってきたのであろうか、そして今後の展開は？

私は、会員数の増減のみで発展・衰退を論ずるべきではないと思うが、少なくとも「減少している現実」を謙虚に考える必要があると思う。

「景気が悪いからロータリーどころではない」からであるうか。それもあるが、空前の好景気をエンジョイしているアメリカでさえ減少しているのをどう説明するのか。ロータリーは間違いなく曲り角に直面しながら21世紀を迎え、会員減少という「病状」を呈していると考えたほうが良いような気がしてならない。

「世界平和と親善」を目指す奉仕団体を標榜するロータリーが、世間から悪く思われるはずはない。しかし、「ハイツサエティの社交場」「ゆとりのある年配者による奉仕団体」というような理解しかされていなく、「近寄り難い」、「お金と時間がかかりそうだ」のイメージが定着し、世間にそんなに親しまれていない。

また、中にあるのは、組織の肥大化や権威主義、実質より形式の重視、一部ボスの会員のクラブ支配、奉仕より親睦優先の傾向や、ロータリーでなければ得られない満足感や喜びの乏しさ等も問題となっている。

発展と改善を繰り返してロータリーは充実してきた。先輩ロータリアンは英知を結集して「ときの問題」を解決してこられた。21世紀は我々の番となる。

科学がモノをくれた20世紀から、モノやお金で買えない「感動」を必要とするのが21世紀と捕らえたい。情報を積極的に発信し、先ずロータリーに正しい理解と親しみをもってもらうことから始め、地域団体や企業への更なるアプローチが必要ではなかろうか。問題の会員増強であるが、私は、我々ロータリアン一人一人の人間的魅力が最も大切と思う。いつの時代でも、「人が人を呼ぶ」というのは不変であろう。

入会希望者がいなければロータリーの発展はあり得ない。規則を甘くして、つまり小手先の方法をとって退会防止や増強を計るのではなく、ロータリアンの人間的魅力とロータリー哲学の啓蒙促進をベースに、時代と価値観の変化に鋭く対応した組織と運営のほうが「先」と思う。

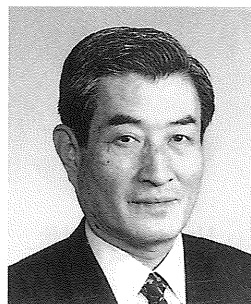
ロータリーは「人」。

「人格奉仕」が21世紀のロータリーを支える。

切磋琢磨して輝かしい21世紀の扉を開きたい。

### ロータリー歴

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1974.4.8  | あまロータリークラブ入会         |
| 1985～1986 | あまロータリークラブ幹事         |
| 1992～1993 | R.I.第2760地区幹事(神戸G年度) |
| 1995～1996 | R.I.第2760地区資金委員長     |
| 1996～1998 | R.I.第2760地区青少年活動副委員長 |
| 1999～2000 | R.I.第2760地区環境保全委員長   |
| 2000～2001 | あまロータリークラブ会長         |



## 全人類が

キーボードと画面に  
向ったら

森 武 保

(名古屋和合RC)

蜂谷G年度地区幹事

100年に一度しか開かない扉が開きました。この世紀越えの時間に生きるという得がたい貴重な体験をした私達は何で幸せなのでしょう。しかし21世紀は、世界にとって、日本にとって、そしてロータリークラブにとってどんな時代になるのでしょうか。

2005年に100周年を迎えるロータリー活動も最初は親睦と相互扶助に始まりました。しかし何といえどもロータリーの真の目的はサービスの理念を具現することであることを忘れてはなりません。利己と利他のバランスの上に成立つ奉仕も、どちらに片寄っても真のサービスとはならないことでしょう。

全世界的に会員が減少を続けるロータリークラブも、その真に目的とするところがうまく伝わっていないのか、或はもっと魅力的な、自分の心を満足させてくれる組織があるからでしょうか。

幸いにも近時日本では若い人々の間にボランティア精神が芽生えています。世界的に見ても最低のランク付けをされていたこの活動も、阪神淡路大震災、三国海岸への重油の漂着事故等の折には、全国より沢山の若者が集まり、献身的な活動をしました。その熱意に感動を覚えたのは私一人ではなかったと思います。

「世紀を越えて…一人一人を大切に」が本年度の我がクラブのテーマです。

内にあるのは、会員一人一人の人格、個性、識見をお互いに認め合い尊敬し合い、心豊かなクラブライフを楽しもうとしています。

外にあるのは、人間としての尊厳さえ傷つけられている社会的弱者に、思いやりのある心で接するよう心掛けております。

又世界にあるのは、一人一人はとても仲が良いのですが、国家とか、民族とか、宗教といった枠組みがはまりますと途端にいがみ合いが始まるという悲しい現実があります。

他方進む環境破壊と、今世紀半ばには100億人を越えると思われる人口の膨張、それに伴う食糧不足と貧富の格差の拡大、どれをとっても危機的な状況です。

価値感の多様化と、ゼロサム化が進む今日、果して現在急速に進捗中のインフォメーションテクノロジーによって救うことが出来るのでしょうか。確かに瞬時に世界が一つになり、生活の上でも利便性が増すという素晴らしい一面もあるのですが、情報のみでは人は生きて行けません。

その陰には、額に汗して働く生産者がいるからこそ成立つのです。穀物を栽培し、漁をし、植樹をしてくれるロボットが近未来に出現するとはとても考えられません。キーボードと画面に全人類が向い合うだけということになれば、それは人類の破滅を意味します。

又グローバル化の名のもとに進行する世界文化の欧米化にも警鐘を鳴らしたいと思います。そして20世紀のアンチテーゼとして生じかねないカオス(混沌)に、我々ロータリアンをもっと視線を向けるべきではないでしょうか。

### ロータリー歴

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1982.4.28 | 名古屋和合ロータリークラブ入会      |
| 1988～1989 | 国際奉仕委員長              |
| 1992～1993 | 名古屋和合ロータリークラブ幹事      |
| 1994～1995 | R.I.第2760地区幹事(蜂谷G年度) |
| 1997～1998 | クラブ奉仕委員長             |
| 2000～2001 | 名古屋和合ロータリークラブ会長      |



Let Us Serve

花井 文雄  
(東知多RC)

ロータリーは、その発足の時には友達作りと経済的利益の相互提供が目的であった。その後「奉仕」(＝社会的貢献)の目的を取り入れたが、最初の頃は「I serve、としてロータリアン個人による活動を、次いで「We serve、としてクラブ全体又は委員会による活動を、その中心に置いてきた。

近年、これを更に発展させ、更に効果の上がる方法を取入れるようになった。すなわち、活動をロータリーのみに限定せず、志を同じくする人達との共同活動である。具体的には、クラブのレベルで言えば、RAC、IAC、RCC、ゴミゼロ運動、環境保全、などの活動は、地域社会の人達と一緒に、あるいはむしろ地域社会の人達を主体的に表に立ってもらって、目的を達成しようとするやり方であろう。

また、RIのレベルで言えば、ポリオ・プラスは、資金提供はロータリーが引受けるものの、実際に接種を行なう段階では地方政府やその他団体との共同作業で行っている様子で、この接種作業をロータリーが独自に自身の手で行なうことは不可能であろう。

このように、ロータリーの活動に対する考え方が、広く周囲の人達との共同活動をしていこうという姿勢に変わって来たようである。つまり、従来の「I serve、」「We serve、」が、非ロータリーをも含めて、「Let Us Serve、」とでも言えるものになって来ているようである。

確かに、「I serve、」「We serve、」とロータリーだけで活動を進めるよりも、周囲の人達を巻き込んだ方がより大きな効果を上げることが出来るし、また、ロータリーの理想を普及させるためにも有益なやり方であろう。



＝奉仕活動の  
あるべき姿＝

長江 博  
(豊山・城北RC)

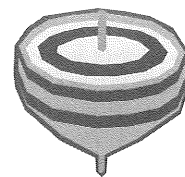
地球上のあらゆる生命体に、「水」がなければ生存することはできません。その「水」は、ロータリーの活動に置き換えると「奉仕」という事ができますが、その「奉仕」イコールロータリークラブと言い切る事はできません。

つまり奉仕が出来る個々の細胞である夫々のロータリアンの集まりが、ロータリークラブであり、それは細胞の集合体が、一人の人間であるのと同様です。その奉仕活動も、例えばポリオ撲滅に立ち向かい、驚異的な成果を収めた、ロータリーの世界的なスケールでの奉仕活動から、地元テリトリに密着した奉仕活動まで様々。

ロータリーは元来テリトリ内会員の在り方が大切にされてきましたが、今日の傾向であるノンテリトリも、止むを得ない感が致します。しかし奉仕する事に喜びを感じる事の出来るロータリーの奉仕は、まずもって地域内に沸き出るニーズに対応する活動が第一義であり、「奉仕をさせていただく」喜びや感動を、最も強く素直に受けとめる事ができるのも、そのロータリアンが存在する地域内だからこそと思うのです。

身近な奉仕の意義、そしてその積み重ね、拡がり、世界ロータリーの奉仕の下支えをする……、そんな姿を思い浮べるのです。

21世紀に於けるロータリアンの、奉仕活動のあるべき姿、じっくり考えてみる絶好の時期ではないかと思います。



#### ロータリー歴

1969.6.13 東浦RC入会(チャーターメンバー)(後に東知多クラブと名称変更)  
1979～80 会長  
1992～93 第2760地区尾張第一分区分代理  
1996～97 第2760地区社会奉仕委員会副委員長  
1997～00 第2760地区社会奉仕委員会委員長  
2000～01 2001～02年度のための地区協議会 実行委員長(ホスト:東知多RC)

#### ロータリー歴

1986.3 入会  
1988～1989 会長  
1998～1999 地区ロータリーの友委員  
1999～2000 地区広報委員



これで良いのか食生活。  
食卓から、  
地球環境を考えよう

長谷川 道春  
(名古屋西RC)

都会の子供たちに「米づくり、を体験させてやりたい!!  
朝食を食べずに登校する、学校給食を食べない、食事を  
食べ残す子供たちが沢山いることと、「米が稲から獲れる  
ことを知らない、若いお母さんがいたこと等がキッカケで、  
名古屋市内で米穀類の小売業を営む谷口靖正さんが思いた  
った。

北区にある小学校5年生のクラスで、毎年6月に「田植  
え、を行うようになって今年で4年目(4回目)を迎えま  
した。「子供たちに、日本人の主食「米、の本当の姿を知  
ってもらいたい」との願いを込めたボランティア活動で、  
小学校近くの田んぼを農家から借りうけ、田植えから稲刈り、  
炊飯まで、子供たちにとっては、はじめての経験です。結  
果は、予想以上の反響として返って来ました。「お母さん  
が握ってくれた「おにぎり、が、こんなに美味しかったと  
は」「ごはんが大好きになりました」「食べ物を残すのは、  
勿体ない…」などです。

日本人が「食」に支出する総額は年間70兆円以上。いま  
日本は「飽食の時代」「グルメ大国」と言われ、食べ物に  
なにより不自由しない豊かな社会になりました。しかし、本当  
でしょうか。米以外は小麦、大豆、牛肉、海老、野菜、玉  
子等食材の90パーセント以上を輸入にたよっており、わが  
国の食糧自給率は約40パーセントと、先進国の中で最低と  
なっています。

一方、年間1,650万トン以上の残飯、生ゴミが家庭や事  
業所から捨てられ、産業廃棄物として膨大なコストをかけ  
て処分されています。世界中から食材を集め、食べ残す生  
活に少し謙虚になり、「食」の危機管理体制を考えないと、  
そろそろ地球から手痛いしっぺ返しをされることになりそ  
うです。

#### ロータリー歴

1983.8.11 入会  
1994~95 プログラム委員長  
1998~99 青少年活動委員長  
1999~00 親睦活動委員長  
2000~01 副会長



「米山梅吉」を識る

=RC理解の近道

花 田 利 雄  
(豊橋RC)

私は、昭和27年に入会して約50年になります。その間、  
幹事、会長、分区代理を務め、人並以上にRCを勉強して  
きましたが、RCを心から得心できませんでした。が、偶  
然「無我の人米山梅吉」(内田稔著)という本を見つけま  
した。この本は、著者が2年がかりで詳細に調べて書いた  
本であり、後半は、主人のあまりの熱心さに奥様も心を動  
かされて協力して完成させたものです。私はこの本を読んで、  
米山梅吉さんという人が本当に良く判り、そしてRCとい  
うものが判ってきた気がします。

三島市の米山記念館へも行きました。その近くの米山家  
のお墓にも案内していただきました。入口のすぐ右に米山  
梅吉御夫妻のお墓があり、句碑に「いさかひもなく 水漫々  
の青田かな」と、米山さんの達筆で刻まれています。ぬか  
ずんで手を合わせていると、涙が出てきました。

RCにはいろいろな文献がありますが、細かいことを研  
究するより、米山梅吉さんの一生を知り、これに感動して  
自分の行動に反映させるのが、よりRCを理解する近道だ  
と確信します。

豊橋クラブは今年創立50周年で、初代会長の神野太郎さ  
んはガバナーもお務めになり、大変なロータリアンでした。  
神野さんは慶応大学在学中に米山梅吉邸へ月2回位訪問す  
ることができ、いろいろお話を伺い、卒業論文に信託をテ  
ーマにしました。就職は三井信託銀行に採用され、米山さ  
んより直接薫陶を受けられ、豊橋へ帰られてから米山さん  
からの御指示で豊橋RCを作られました。豊橋RCが何と  
なく筋金が入っているなあと思えるのは、この辺の事情が  
大きく影響していると思います。

中小企業の経営者は毎日多忙です。あまりRCに時間を  
取れません。もっとRCの本質を見極めて自分の城は自分  
で守る気概が必要です。

#### ロータリー歴

1952.12.25 豊橋RC入会  
1959~60 豊橋RC 幹事  
1971~72 豊橋RC 会長  
1978~79 東三河分区代理  
1979~80 地区拡大委員  
1980~81 地区米山奨学委員  
1981~82 地区米山奨学委員

ポールハリスフェロー  
マルチプロフェロー  
米山功労者



「人間能力」の開発こそ、  
これからのテーマ

小 野 智 範  
(岡崎城南 R C)

私たちの先人の努力と超我の奉仕精神で、今日までの組織の拡大と成果を見た民間レベルの最大奉仕団体が、二十一世紀に向かい何を求め、何を為すべきかと、わずか十有余年の会員活動をもとにして、自問自答するとき、古きものは古きが故に亡び、新しきものは新しきが故に亡び、古くて新しきものののみ生き残る、との言葉を思い出す。来る二十一世紀からの奉仕の指針となるものは、この十有余年の R C 経験を振り返るところに、私なりの答えがあるように思われる。

クラブ創立10周年の記念すべき年度に、国際奉仕委員会の長として、「米山奨学生の故郷を訪ねて」との企画のもと、それまでに受け入れた、中国、台湾、ミャンマー、等々の奨学生のどの国を訪問するか、検討した結果、飢餓貧困の撲滅をテーマとするロータリー精神のもと、ミャンマー訪問を決定した。

そこで、それまで地区に送金していた W C S の予算をクラブ独自に遣わせて頂きたいと、当時の地区国際奉仕小委員長に往時の会長が相談、協議されたがしかし、国際奉仕活動は相手国のロータリークラブを通して行うものであり、ミャンマーに R C クラブが無いという、難問に直面。しかし会長は、米山奨学生として、ミャンマーの学生を援助し、なおかつ我がクラブの委員会においての要請である以上、独自の活動でも、問題は無いと判断、又、地区国際奉仕小委員長より、「広義の国際奉仕であると理解する」との答えを頂きました。

99年1月「ミャンマーにおける教育援助活動」として、会員7名が参加、ヤンゴン市内第5アローン高校を訪問、校庭整備資金を寄付、この寄付金をもとに地域の有力者、卒業生等の協力を併せて資金を充実、無事に竣工。00年2月、再び同高校を訪問し、講堂の整備資金を寄付、これを基金として、再び卒業生や、地域住民の協力を求め、01年2月にその落成に参加予定をしている。

私たちは この二回の寄付活動を通して、相手側が R C でなくても、責任ある団体であるならば、これらの要望と趣旨を理解してもらえること、そして「ウィー、サーブ」ではなく「アイ、サーブ」からスタートすることが大切であり、「アイ、サーブ」こそ「ウィー、サーブ」を引き出して行くとの実感です。そして、建築物や構造物、俗に箱物の援助ではなく、相手国の現状に合わせた「人」人間への援助こそ、より大切であると痛感したのです。

先進国であれ発展途上国であれ、人間の才能は平等であり、それを磨く機会に恵まれているかどうかの「差」であるならば、その機会をつくり、その「差」を無くすべき援助をして行くことこそが、R C の精神に通ずるものであるといえる。

相手国の現状に合わせ、地域、風習にも合わせたプログラム、相手の顔が見えて、自分の顔も見せての、足長おじさんの国際奉仕活動、即ち、今までのプログラムに加えて小さな民間レベルでの、息の長い援助活動も又、21世紀への重要な活動の基となるべきであろう。

ハードからソフトに、物から人への援助、無限の可能性を秘めた「人間能力」の開発こそ、これからのテーマとなるのではないだろうか？

ロータリー歴

1989.3 岡崎城南ロータリークラブ入会  
1998～99 国際奉仕委員長  
1999～00 副会長  
2000～01 会長エレクト



「4つのテスト」の実践  
ALL CONCERNEDに

小笠原 芳夫  
(高浜 R C)

20世紀は戦争と平和とが繰り返され、変革の時代と言われてきました。大きな世界大戦を挟み、地域での民族対立や宗教戦争と言った争いが未だ絶えません。ロータリークラブはこの20世紀のすべてを見てきたわけですが、我々は果たしてこれからの世界を救えるでしょうか？

私は世界を救う条件はロータリーの『4つのテスト』の中にあります。すなわち、ALL CONCERNEDと述べられている範囲をどう考えるか、であろうと思います。

我々は往々にしてこの ALL CONCERNEDという範囲をただ単に『身近な仲間』としてのみ捉えてはいないでしょうか。21世紀にはいれば、インターネットが世界を1つに結ぶのは時間の問題であり、時間的にも、心的にも地球という単位でものを考えていく段階において、やがて宗教も文化も人種も言語もまた、年齢・経験・性別すべてが1つに融合し地球全体を ALL CONCERNEDとして、また、地球が唯一我々の住みかとして直接的に認知できるのではないのでしょうか。

そのために、我々は日頃から『4つのテスト』を実践し、地域に対し奉仕を通じて我々の心を伝え、時間と空間と人間のエゴの障壁を越える努力を惜しまないよう、行動すべきだと考えます。ロータリーの100年間変わらない『奉仕の理想』の精神がその実現性を証明していると思います。

私はこれからも自信をもって我々ロータリーの心を伝えていきたい、ALL CONCERNEDに。



ロータリー歴

1987.5 高浜ロータリークラブ入会  
1990～91 親睦活動委員長  
1991～92 国際奉仕委員長  
1994～95 職業奉仕委員長  
1996～97 幹事  
1998～99 クラブ奉仕委員長  
2000～2001 高浜ロータリークラブ 第32代会長

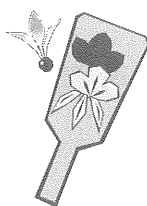


## 「網領」を忘れず フレキシブルな対応を

小嶋 洋一  
(東海RC)

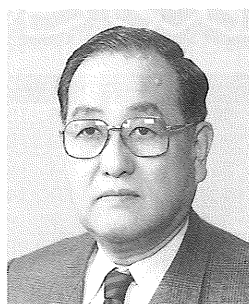
ロータリーが誕生したのが1905年、もうすぐ100年を迎えるのだが、その前に新しい世紀、21世紀がやってくる。思えばこの100年足らずの間に、いろいろの変遷はあったが、その精神と哲学は、何ら損なわれることもなく、その輝きを一層増してきたのである。決議23-24、それこそ金科玉条としてきた「社会奉仕に関する声明」にしても、1992年の声明へと大きく変化をしながら、その根本は変わらず、ポリオ・プラスの活動へと結実していったことは、素晴らしいことだと思う。20世紀中のポリオ撲滅は、今や現実となっている。クラブの構成にしても成人男性でなければならなかったのが、今では女性会員は珍しくもない。そして「環境保全」が、社会への取り組みの中にしっかりと取り込まれていることなど、創立当初では想像もつかなかったことだろう。

私見だが、21世紀は紛れもなく国際化の時代である。時代の流れ、国際化への道を進むことは間違いないと思っている。例えば、一色の加藤博君、名古屋南の赤津賢太郎君、空港の安藤幸治君、その他多くの先輩の情熱と努力で根付いてきたWCS活動などは、もっと大きく育ち、花開き、実を結んでいくであろう。そして、環境保全に見られるように、地域社会への取り組みが、即ち、国際社会「われらの天体、地球」への取り組みとなるのである。ロータリーの網領を忘れず、しかも時代にあったフレキシブルな対応を続けながら、21世紀の扉を開きたいと思う。



### ロータリー歴

東海ロータリークラブチャーターメンバー  
1975～76 クラブ会長  
1986～87 尾張第一分区分代理  
1988～89 第2760地区青少年交換委員会委員  
1989～90 第2760地区青少年交換小委員会委員  
1990～91 第2760地区ローターアクト(小)委員会委員  
1991～92 第2760地区青少年交換(小)副委員長  
1992～93 第2760地区国際奉仕委員長  
ボール・ハリス・フェロー 6回 米山功労者 6回



## 国歌「君ヶ代」に想う

山本 鐵彦  
(津島RC)

昨年 シドニーで行われたオリンピック大会における日本選手、殊に女性選手の活躍は、全国民が感動を共にしたものです。表彰台に立って金メダルを首に掛けて日本国歌の演奏と共に国旗の掲揚を感無量の面持ちで見つめていた。然し日本の選手は全員口をむすんだままで、「君ヶ代」を口ずさむことがなかった。それに引きかえ外国の選手はほとんど、自国の国歌を唱っていた。

私は体育協会の役員として、毎年各地で行われる国体の開会式に出席します。そこで最近感ずることは、開会式で自信をもって国歌を唱う役員がまことに少なくなった事です。数年前までは戦争中に小中学校で教育を受けた年代が多かったのですが、今では私のような老人の役員が少なくなったのか、ほんの少しの人しか唱いません。

ロータリアンは、毎月最初の例会日に何気なく唱っている国歌斉唱を注目すべきと思います。法律で「君ヶ代」が正式に国歌に制定された現代に、胸を張って唱うよう習慣を与えてくれたロータリークラブに感謝すると同時に、21世紀には全国民が「君ヶ代」を正確に自信を持って唱える運動をしようではありませんか。

### ロータリー歴

1968.3.15 入会 1983～84 会長  
1992～1993 西尾張分区分代理 P.H.F 米山功労者



## 時代は変れど 「奉仕」は

古川 弘一  
(津島RC)

まさにIT(情報技術)革命が叫ばれる昨今、願はば驚く程早いスピードで世の中が変化している事に改めて気がつきます。近代日本が経験してきた、農業革命から産業革命、20世紀中盤まで続いた世界大戦、そして戦後の世界稀に見る復興、さらには21世紀を目前に控え情報革命の更なる進展。いよいよ新しい時代の到来を予期させる、まさに未だかつて経験した事のない大きな時代の潮流が押し寄せています。

さて、こうした中で「ロータリーの夢は？」と思いを馳せますと、時代は変われどその精神は不偏のものである事を再認識致します。世界平和、平等、自由、人間としての尊厳・こうした実現の為、その一躍を担うべく、「奉仕」を通じてロータリーの活動が意義を齎すものではないでしょうか。

物質文明の隆盛が精神文明を後退させ、さらには荒廃した心の成せる様々な社会問題が起きている事も否めない事実であります。

ロータリアンとして、一人一人がその精神を鑑み、奉仕を通じて地域社会の、日本の、しいては世界へと目を向ける時、人間として無限の知恵と能力が発揮させるのではないのでしょうか。

大きな躍進も小さな一歩からであります。ロータリーの基本をしっかり理解し、新世紀に向けての改革は勿論、次世代の奉仕活動に新しい会員と共に邁進していこうではありませんか。

私も入会して30年の月日が経ちました。素晴らしい先輩や良き仲間にも恵まれ、少しはロータリーの意義を理解し、微力ながら奉仕を通じて世の中の為になる活動ができたと思っております。

21世紀を迎えるにあたり、ロータリークラブの素晴らしい仲間と共に日々の奉仕活動の輪を広げ、更なる挑戦をして参りたいと思っております。

人類の明日は無限であります。生きている以上は毎日がチャレンジであります。日々感謝の気持ちを忘れず、明日に向かって行きたいと存じます。

### ロータリー歴

1970 入会 1987～88(S.62・63)会長 P.H.F 米山功労者

# ご入会おめでとうございます

| 分 区   | ク ラ ブ   | 氏 名   | 生年月日         | 会 社               | 職 業 分 類  |
|-------|---------|-------|--------------|-------------------|----------|
| 南 尾 張 | 半 田 南   | 岡田 英明 | 1950. 6. 15  | (有)すてっぴ           | 人材派遣業    |
| 東 尾 張 | 尾 張 旭   | 櫻部 正和 | 1944. 3. 5   | 旭千代田工業(株)         | 貴金属熱処理加工 |
| 西名古屋  | 名 古 屋   | 藤代 富夫 | 1936. 4. 16  | 東邦ガス(株)           | ガス供給     |
|       | 〃       | 渡邊 芳美 | 1943. 1. 14  | (株)エヌ・ディ・ディ・ドコモ東海 | 移動通信     |
|       | 名 古 屋 南 | 安井 裕  | 1941. 7. 2   | 中部日本放送(株)         | 民間放送     |
|       | 名古屋みなと  | 酒井 正  | 1949. 1. 22  | 旭興業(株)            | 原子力発電工事  |
|       | 名古屋東南   | 堀田 努  | 1956. 1. 23  | ソニー生命保険(株)名古屋     | 生命保険     |
| 東名古屋  | 名古屋千種   | 藤田千津子 | 1951. 6. 6   | (株)藤田製作所          | 電子部品製造   |
| 東 三 河 | 田 原     | 尾崎 明  | 1954. 1. 18  | 東海運輸(株)           | 運送業      |
|       | 渥 美     | 蒲野 和夫 | 1948. 10. 28 | 渥美郵便局             | 郵便事業     |
|       | 〃       | 川口 敏郎 | 1953. 4. 9   | 丸寅青果(株)           | 青果配布     |
|       | 〃       | 田中 悦雄 | 1955. 2. 26  | 休暇村伊良湖            | リゾート     |
|       | 豊川宝飯    | 高木 修  | 1946. 4. 3   | (株)タカギ            | ユニフォーム販売 |
| 西 三 河 | 西 尾     | 杉浦 広  | 1960. 3. 1   | 三和動物病院            | 獣医       |

## 新ポール・ハリス・フェロー 10・11月分 (一部9月分含む)

|                   |                   |                  |
|-------------------|-------------------|------------------|
| 村瀬富三夫様 (名古屋空港)    | 中根 常彦様 (岡崎城南)     | 小島 邦男様 (岡崎城南)    |
| 永野 彦磨様 (岡崎城南)     | 大野喜十郎様 (西春日井)     | 同前 慎治様 (岡崎城南)    |
| 小林 通利様 (岡崎城南)     | 小野 進一様 (岡崎城南)     | 榊原 恒夫様 (岡崎城南)    |
| 永井 浩様 (知 立)       | 西村 誠夫様 (名古屋名駅)    | 犬飼 毅様 (西春日井)     |
| 水野 周久様 (岡 崎)      | 伊藤 勝康様 (名古屋和合)    | 橘 至朗様 (名古屋和合)    |
| 坪井 和義様 (名古屋和合)    | 川上 芳孝様 (西尾KIRARA) | 槇坪 璋様 (西尾KIRARA) |
| 三浦 隆司様 (西尾KIRARA) | 鈴木 清孝様 (西尾KIRARA) | 高原 宏様 (西尾KIRARA) |
| 杉浦 将仁様 (豊橋北)      | 河部 好範様 (豊橋北)      | 野寄東太郎様 (名古屋)     |
| 高山 與様 (名古屋)       |                   |                  |

## 文 庫 通 信 159号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料 (貸出可) など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。  
閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 21世紀への展望

- ◎「21世紀におけるロータリー活動」今井鎮雄 2000 5頁 (D.2680地区大会講話)
- ◎「新世紀を迎えるロータリーの姿」2000 11頁 (D.2580地区大会シンポジウム：加美山 節・松島寛容 他3人)
- ◎「21世紀へ向けて、ロータリーの夢」西澤潤一 2000 10頁 (D.2520地区大会講演)
- ◎「21世紀の夢」堀場雅夫 2000 5頁 (D.2780地区大会講演)
- ◎「ロータリー2000ー新しい道をめざしてー」2000 7頁  
(D.2520地区大会シンポジウム：小川 惇・青木喜彦・枅内松四郎 他6人)
- ◎「大国の衰亡と日本」中西輝政 2000 13頁 (D.2790地区大会講演)
- ◎「人生、惚れてこそ」米長邦雄 2000 8頁 (D.2570地区大会講演)
- ◎「日本の危機と世界『いま世界では』」櫻井よしこ 2000 3頁 (D.2790地区大会講演)
- ◎「2000年の世界と期待される日本の役割」平野次郎 2000 14頁 (D.2510地区大会講演)
- ◎「21世紀にわれらがなすべきこと」堀田 力 2000 4頁 (D.2520地区大会講演)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階  
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

# 特別寄付報告

2000年11月分

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 末永 直行

| クラブ名称     |  | クラブ扱入金額   | 個人扱入金額     | 法人扱入金額  | 合 計        | 件 数  |
|-----------|--|-----------|------------|---------|------------|------|
| 知 立       |  | 0         | 60,000     | 0       | 60,000     | 2件   |
| 碧 南       |  | 0         | 900,000    | 0       | 900,000    | 4件   |
| 一 宮       |  | 0         | 1,980,000  | 0       | 1,980,000  | 51件  |
| 一 宮 中 央   |  | 500,000   | 0          | 0       | 500,000    | 1件   |
| 一 宮 北     |  | 222,000   | 150,000    | 0       | 372,000    | 3件   |
| 稲 沢       |  | 0         | 600,000    | 0       | 600,000    | 2件   |
| 犬 山       |  | 0         | 1,200,000  | 0       | 1,200,000  | 42件  |
| 一 色       |  | 0         | 400,000    | 0       | 400,000    | 2件   |
| 春 日 井     |  | 68,000    | 440,000    | 0       | 508,000    | 6件   |
| 小 牧       |  | 0         | 180,000    | 0       | 180,000    | 6件   |
| 名 古 屋     |  | 0         | 200,000    | 0       | 200,000    | 3件   |
| 名 古 屋 千 種 |  | 0         | 950,000    | 0       | 950,000    | 32件  |
| 名 古 屋 北   |  | 336,000   | 20,000     | 0       | 356,000    | 2件   |
| 名 古 屋 名 北 |  | 130,000   | 100,000    | 0       | 230,000    | 2件   |
| 名 古 屋 瑞 穂 |  | 0         | 300,000    | 0       | 300,000    | 1件   |
| 名 古 屋 守 山 |  | 100,000   | 0          | 0       | 100,000    | 1件   |
| 名 古 屋 中   |  | 133,000   | 0          | 0       | 133,000    | 1件   |
| 名 古 屋 錦   |  | 0         | 260,000    | 350,000 | 610,000    | 2件   |
| 名 古 屋 栄   |  | 0         | 30,000     | 0       | 30,000     | 1件   |
| 名 古 屋 西 南 |  | 0         | 0          | 350,000 | 350,000    | 1件   |
| 名 古 屋 昭 和 |  | 0         | 1,020,000  | 0       | 1,020,000  | 29件  |
| 名 古 屋 東 南 |  | 0         | 300,000    | 0       | 300,000    | 1件   |
| 名 古 屋 和 合 |  | 0         | 390,000    | 0       | 390,000    | 13件  |
| 西 尾       |  | 0         | 90,000     | 0       | 90,000     | 2件   |
| 岡 崎       |  | 0         | 90,000     | 9,400   | 99,400     | 10件  |
| 岡 崎 東     |  | 0         | 180,000    | 0       | 180,000    | 8件   |
| 岡 崎 南     |  | 0         | 20,000     | 0       | 20,000     | 2件   |
| 尾 張 旭     |  | 0         | 260,000    | 0       | 260,000    | 10件  |
| 瀬 戸       |  | 0         | 30,000     | 0       | 30,000     | 1件   |
| 豊 橋 東     |  | 0         | 270,000    | 0       | 270,000    | 2件   |
| 豊 橋 北     |  | 0         | 10,000     | 0       | 10,000     | 1件   |
| 豊 田       |  | 400,000   | 0          | 0       | 400,000    | 1件   |
| 地 区 合 計   |  | 1,889,000 | 10,430,000 | 709,400 | 13,028,400 | 245件 |

## ◆ 計 報 ◆ (謹んでお悔やみ申し上げます)

佐藤 忠男様  
伊藤 守様  
竹倉 鍵治様  
丹羽 光信様  
山田 和夫様

名古屋ロータリークラブ  
名古屋東南ロータリークラブ  
半田ロータリークラブ  
名古屋名駅ロータリークラブ  
名古屋東ロータリークラブ

平成12年12月 2 日  
平成12年12月 5 日  
平成12年12月 5 日  
平成12年12月16日  
平成12年12月24日

### ■ 事務局移転のお知らせ

三河安城ロータリークラブ 新住所 (電話番号、FAX 番号は変わりません)  
〒446-0054 安城市二本木町長根41 NCDビル101号 TEL 0566(71)0630・FAX 0566(71)0631

### 地区内関係事務所の御案内 .....

#### ガバナー事務所

〒483-8205  
江南市古知野町小金112 江南商工会館内  
TEL 0587(52)5200 FAX 0587(52)5252  
E-mail: governor00-01@rotary2760.org

#### ガバナーエレクト事務所

〒444-0059  
岡崎市康生通西3-16 康生ビル406  
TEL 0564(65)5552 FAX 0564(65)5553  
E-mail: governor01-02@rotary2760.org

#### 地区事務所

〒450-0002  
名古屋市中村区名駅3-12-5  
竹生ビル別館(ちくぶビル)  
TEL 052(541)2760 FAX 052(541)0500  
E-mail: office@rotary2760.org  
http://www.rotary2760.org

# ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 会員敬および出席報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第2760地区

平成12年11月分

| 分 区     | クラブ名    | 出席率   | 例会<br>会 数 | 会 員 数         |       |    |          |
|---------|---------|-------|-----------|---------------|-------|----|----------|
|         |         |       |           | 2000年<br>7月1日 | 当月末   | 増減 | 女性<br>会員 |
| 南尾張分区分  | 半 田     | 99.58 | 4         | 73            | 72    | -1 | 0        |
|         | 常 滑     | 98.39 | 3         | 72            | 72    | 0  | 0        |
|         | 東 海     | 98.49 | 5         | 48            | 53    | 5  | 1        |
|         | 東 知 多   | 95.07 | 4         | 65            | 65    | 0  | 0        |
|         | 半 田 南   | 100   | 4         | 65            | 68    | 3  | 0        |
|         | 知 多     | 96.34 | 4         | 41            | 42    | 1  | 0        |
|         | 6RC     | 97.98 | 24        | 364           | 372   | 8  | 1        |
| 西尾張分区分  | 一 宮     | 99.02 | 4         | 85            | 83    | -2 | 0        |
|         | 津 島     | 100   | 3         | 77            | 80    | 3  | 0        |
|         | 尾 西     | 98.75 | 4         | 59            | 60    | 1  | 0        |
|         | 一 宮 北   | 98.07 | 3         | 72            | 74    | 2  | 1        |
|         | 稲 沢     | 99.00 | 5         | 62            | 62    | 0  | 0        |
|         | あ ま     | 99.20 | 4         | 94            | 97    | 3  | 0        |
|         | 西 春 日 井 | 97.25 | 4         | 60            | 61    | 1  | 2        |
|         | 尾 張 中 央 | 100   | 5         | 54            | 55    | 1  | 0        |
|         | 一 宮 中 央 | 96.79 | 5         | 70            | 70    | 0  | 5        |
|         | 9RC     | 98.68 | 37        | 633           | 642   | 9  | 8        |
| 東尾張分区分  | 瀬 戸     | 100   | 5         | 84            | 86    | 2  | 0        |
|         | 犬 山     | 100   | 4         | 83            | 85    | 2  | 0        |
|         | 江 南     | 99.32 | 4         | 73            | 78    | 5  | 0        |
|         | 小 牧     | 94.91 | 5         | 74            | 74    | 0  | 0        |
|         | 春 日 井   | 99.23 | 3         | 82            | 87    | 5  | 3        |
|         | 尾 張 旭   | 98.32 | 3         | 59            | 59    | 0  | 0        |
|         | 名古屋空港   | 94.57 | 4         | 58            | 59    | 1  | 0        |
|         | 瀬 戸 北   | 100   | 4         | 71            | 73    | 2  | 0        |
|         | 岩 倉     | 97.22 | 4         | 36            | 36    | 0  | 0        |
|         | 豊山一城北   | 99.34 | 4         | 44            | 44    | 0  | 2        |
|         | 10RC    | 98.29 | 40        | 664           | 681   | 17 | 5        |
| 西名古屋分区分 | 名 古 屋   | 94.92 | 4         | 215           | 223   | 8  | 0        |
|         | 名 古 屋 西 | 96.27 | 4         | 140           | 142   | 2  | 0        |
|         | 名 古 屋 南 | 99.19 | 5         | 120           | 124   | 4  | 0        |
|         | 名古屋みなと  | 100   | 3         | 118           | 121   | 3  | 0        |
|         | 名古屋東南   | 97.48 | 5         | 79            | 81    | 2  | 4        |
|         | 名 古 屋 中 | 99.81 | 4         | 153           | 158   | 5  | 0        |
|         | 名古屋瑞穂   | 98.20 | 4         | 97            | 97    | 0  | 0        |
|         | 名古屋大須   | 98.72 | 4         | 92            | 85    | -7 | 0        |
|         | 名 古 屋 栄 | 99.70 | 4         | 85            | 85    | 0  | 0        |
|         | 名古屋名駅   | 97.93 | 5         | 111           | 118   | 7  | 1        |
|         | 名古屋名南   | 97.38 | 4         | 90            | 91    | 1  | 17       |
|         | 名古屋西南   | 99.58 | 4         | 60            | 61    | 1  | 8        |
|         | 12RC    | 98.27 | 50        | 1,360         | 1,386 | 26 | 30       |

| 分 区     | クラブ名     | 出席率   | 例会<br>会 数 | 会 員 数         |     |    |          |
|---------|----------|-------|-----------|---------------|-----|----|----------|
|         |          |       |           | 2000年<br>7月1日 | 当月末 | 増減 | 女性<br>会員 |
| 東名古屋分区分 | 名 古 屋 北  | 97.96 | 3         | 111           | 111 | 0  | 0        |
|         | 名 古 屋 東  | 97.48 | 4         | 105           | 105 | 0  | 0        |
|         | 名古屋守山    | 95.75 | 5         | 79            | 80  | 1  | 5        |
|         | 名古屋和合    | 100   | 5         | 108           | 113 | 5  | 0        |
|         | 名古屋名東    | 100   | 4         | 82            | 84  | 2  | 8        |
|         | 名古屋名北    | 99.22 | 5         | 67            | 65  | -2 | 5        |
|         | 名古屋千種    | 98.40 | 4         | 70            | 71  | 1  | 4        |
|         | 名古屋昭和    | 99.67 | 4         | 74            | 76  | 2  | 0        |
|         | 名 古 屋 錦  | 95.41 | 4         | 57            | 57  | 0  | 13       |
|         | 名古屋東山    | 98.44 | 4         | 61            | 64  | 3  | 0        |
|         | 10RC     | 98.23 | 42        | 814           | 826 | 12 | 35       |
| 東三河分区分  | 豊 橋      | 97.93 | 4         | 130           | 131 | 1  | 3        |
|         | 蒲 郡      | 96.97 | 3         | 74            | 74  | 0  | 0        |
|         | 豊 橋 北    | 98.73 | 4         | 110           | 110 | 0  | 2        |
|         | 豊 川      | 96.69 | 5         | 77            | 79  | 2  | 0        |
|         | 田 原      | 100   | 3         | 70            | 73  | 3  | 1        |
|         | 豊 橋 南    | 97.92 | 4         | 66            | 69  | 3  | 0        |
|         | 新 城      | 91.18 | 3         | 69            | 69  | 0  | 0        |
|         | 渥 美      | 93.12 | 5         | 61            | 60  | -1 | 0        |
|         | 奥 三 河    | 92.70 | 4         | 37            | 37  | 0  | 2        |
|         | 豊 川 宝 飯  | 97.44 | 4         | 64            | 64  | 0  | 0        |
|         | 豊橋ゴールデン  | 98.67 | 3         | 76            | 76  | 0  | 0        |
|         | 田原パシフィック | 97.83 | 4         | 72            | 71  | -1 | 0        |
|         | 豊 橋 東    | 100   | 5         | 50            | 51  | 1  | 0        |
|         | 13RC     | 96.86 | 51        | 956           | 964 | 8  | 8        |
| 西三河中分区分 | 岡 崎      | 99.80 | 5         | 107           | 113 | 6  | 1        |
|         | 豊 田      | 97.53 | 4         | 84            | 90  | 6  | 0        |
|         | 岡 崎 南    | 94.38 | 3         | 108           | 107 | -1 | 2        |
|         | 豊 田 西    | 99.45 | 4         | 102           | 103 | 1  | 0        |
|         | 岡 崎 東    | 96.30 | 4         | 97            | 100 | 3  | 0        |
|         | 豊 田 東    | 98.71 | 5         | 95            | 96  | 1  | 0        |
|         | 岡 崎 城 南  | 99.67 | 4         | 74            | 75  | 1  | 0        |
|         | 豊 田 三 好  | 92.98 | 4         | 30            | 31  | 1  | 2        |
|         | 豊 田 中    | 100   | 3         | 53            | 51  | -2 | 4        |
|         | 9RC      | 97.65 | 36        | 750           | 766 | 16 | 9        |
| 西三河分区分  | 刈 谷      | 100   | 4         | 99            | 103 | 4  | 0        |
|         | 安 城      | 92.87 | 3         | 73            | 71  | -2 | 0        |
|         | 西 尾      | 97.27 | 4         | 78            | 80  | 2  | 1        |
|         | 碧 南      | 99.12 | 5         | 78            | 84  | 6  | 0        |
|         | 一 色      | 98.53 | 4         | 50            | 51  | 1  | 0        |
|         | 高 浜      | 98.48 | 4         | 50            | 51  | 1  | 3        |
|         | 知 立      | 100   | 5         | 60            | 61  | 1  | 0        |
|         | 西尾KIRARA | 100   | 3         | 67            | 67  | 0  | 0        |
|         | 三 河 安 城  | 92.92 | 5         | 42            | 45  | 3  | 1        |
|         | 9RC      | 97.69 | 37        | 597           | 613 | 16 | 5        |

|                                    |               |                 |                |      |
|------------------------------------|---------------|-----------------|----------------|------|
| <div>地域内クラブ数</div> <div>78RC</div> | 2000.7.1会員数   | 6,138名          | 増 加 会 員 数 (累計) | 187名 |
|                                    | 当 月 末 会 員 数   | 6,250名(内女性101名) | 減 少 会 員 数 (累計) | 75名  |
|                                    | 当 月 平 均 出 席 率 | 97.96%          | 差引純増会員数(累計)    | 112名 |

表紙に寄せて――

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

## ●書家・画家プロフィール 書：富永奇洞

富永正明・号奇洞／篆刻・書道家  
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長  
江南市教育委員長／文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)  
1998～1999年度江南RC会長

## 画：岩田明生

岩田 明・号明生／洋画家  
江南市文化協会理事  
昭和54年以後白日会連続出品  
白日賞／文部大臣賞／  
現在白日会会員